

# 小学校教員の専門性を高めた 質の高い授業の促進

～小学校教科担任制の導入～

## 手引き



大分県教育委員会  
令和2年3月 (Ver.2)

# 目次



1	はじめに.....	1
2	学級担任制の抱える問題点.....	2
3	問題解決に向けた教科担任制の導入.....	3
4	「学級担任間の交換授業」導入の目的.....	4
5	導入の課題と対策.....	5
	(1) 学校規模・課題に応じた教科選択.....	6
	(2) 学習指導や生徒指導の充実.....	11
	(3) 円滑な実施のための啓発.....	12
6	教科担任制推進地域及び教科担任制推進校...	13
7	令和元年度教科担任制推進校の導入状況.....	15
8	令和元年度教科担任制推進校の成果と課題...	20

# 1 はじめに

大分県は、「学びに向かう力」と「思考力・判断力・表現力」を育成するワンランク上の授業を目指し、「新大分スタンダード」に基づき、主体的・対話的で深い学びの実現を図っています。そのため、教員が教科の内容や子どもの学びについて豊富な知識をもつことが必要です。また、授業準備を一層効率的に行い、教材研究等の充実を図ることや、生徒指導に係る問題に対して学級担任一人で抱え込まず、複数による指導体制で多面的に子どもを理解し、解決に当たることが大切です。

「小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引(平成28年12月26日 文部科学省)」には、次の2点が挙げられています。

- ① 教育内容や学習活動の量的・質的充実が図られる中、小学校高学年での専門的な指導を充実させ、学力や学習意欲の向上を図る必要がある。
- ② 思春期が早期化し、子どもの態様が多面化している中、学級担任制と一部教科担任制を併用して様々な教員が多面的に子どもの指導に当たる必要がある。

これらを踏まえ、県教育委員会は「令和元年度小学校学力向上対策支援事業」において、「小学校教科担任制推進地域」及び推進地域内の「小学校教科担任制推進校」を指定するとともに、小学校高学年における教科担任制を全県下で推進しています。

小学校高学年における教科担任制を導入する際、本手引きを参考としつつ、学習指導と生徒指導の充実、さらには中学校への円滑な接続など、各校の導入のねらいを明確にした上で、その達成につながるよう工夫し、具体的な計画の立案や体制整備等が行われることを期待しています。

最後に、小学校高学年における教科担任制の導入によって、小学校教員の専門性が高まり、これまで以上に質の高い授業が全県下で展開され、子どもたちが生き生きと学ぶ姿につながりますようお願いいたします。

令和2年3月



大分県教育庁義務教育課長

内海 真理子

## 2 これまでの学級担任制の抱える問題点

### ① 学習指導について

- 教員のもつ得意な教科指導力が1クラスに留まりがち
- 指導教科数が多く、教材研究の時間確保が困難

およそ教員には得意な教科があり、学級担任制では、個々の教員のもつ専門性を校内で十分に生かすことができない場合もあります。

また、小学校の学級担任は指導教科数が多く、勤務時間内に教材研究や授業準備等が十分にできない場合もあります。

### ② 生徒指導について

- 学級担任との不適應による学校生活や学習への影響

学級担任制において、学級担任の指導に対して児童が不適應を起こすと、短期間で関係を改善することは難しく、学校生活や担任が担当する全ての教科学習に影響を及ぼしてしまうことや保護者との関係も難しくなる場合もあります。

### ③ 中1ギャップについて

- 中1での教科担任制の開始に伴う不適應の生徒の存在
- 接続期カリキュラムの準備不足

思春期という心身ともに発達課題の多い時期に、小学校卒業や中学校への入学などを経て、新たな学習方法や指導が異なる環境に入る際の移行やスタートが子どもにとって円滑に行われていない場合、不適應になる場合もあります。

### 3 問題解決に向けた教科担任制の導入

小学校における教科担任制の類型として、主に下記の4つがあります。  
学級担任制の抱える問題点を解決するに当たり、今回目指すのは、類型④の「学級担任間の交換授業」です。

#### 小学校で考えられる教科担任制の類型

##### ① 完全教科担任制

(例) 中・高と同様の教科担任による指導

発達段階から公立の小学校では実施しにくい  
人的配置も基本的に行われにくい

##### ② 特定教科における専科教員の単独指導

(例) 体育専科教員、音楽科専科教員配置等による指導

多くの小学校ですでに導入

##### ③ 学級担任とTT指導を行う専科担任

(例) 専科教員が学級担任と行うTT指導

多くの小学校ですでに導入

##### ④ 学級担任間の交換授業

(例) 学級担任間で、特定の教科の授業交換で行う指導

今回導入を目指すもの



- ◆ 高学年を中心に
- ◆ 国語、社会、算数、理科、外国語科を中心に



## 4 「学級担任間の交換授業」導入の目的

学級担任間で長期的に授業を交換し、学習指導を進めていくメリットとして、主に下記の3点が挙げられます。

### ① 学習指導の充実

○教科の専門性に基づいて、指導方法の工夫改善が充実できます。

- 複数学級での授業実施による指導法及び評価方法の改善が図られる。
- 指導教科数の減少に伴い教材研究の時間の確保がしやすい。
- 教材研究の深化や教具の創意工夫がしやすい。



### ② 生徒指導の充実

○多面的な児童理解に基づいて、組織的・協力的な指導が充実できます。

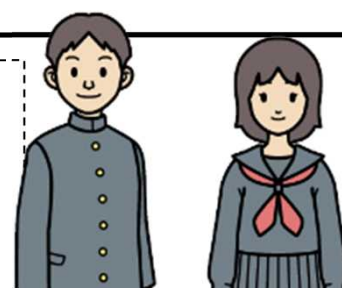
- 複数教員による指導体制により、児童理解が深まる。
- 情報共有のための教員間の連携強化が図られる。
- 学級経営から学年・学校経営への教員の意識改革が進む。



### ③ 中学校への円滑な接続

○学びの連続性を確保するための小・中学校の円滑な連携が進みます。

- 中学校進学時の学習等に対する児童の不安解消が図られる。
- 小・中学校の指導内容の系統性を踏まえたカリキュラムの検討が必然的に行われやすい。




## 5 導入の課題と対策

学級担任間で長期的に授業を交換し、計画的に学習指導を進めていくに当たって、主に下記の3点のような課題が考えられます。

ここからは、その課題に対する解決のヒントを紹介していきます。


### (1) 学校規模・課題に応じた教科選択

6ページ参照

- 
- ① 学級担任制を基盤とし、実状に応じた実施学年・教科を考える。
  - ② 学校の実情に応じた計画的・弾力的な時間割編制・変更を教務主任等が行う。


### (2) 学習指導や生徒指導の充実

11ページ参照

- 
- ① 学年部会の定例化による情報交換の実施。
  - ② 同じ教科担当者による打ち合わせや指導計画の作成。

### (3) 円滑な実施のための啓発

12ページ参照

- 
- ① PTAや地域との連携、また授業公開等の実施による啓発。
  - ② 学習計画表等で授業内容、宿題等を児童・保護者に周知。

# (1) 学校規模・課題に応じた教科選択

## ① 実状に応じた実施学年・教科

教科担任制を推進するに当たって、誰がどの学年のどの教科(高学年の国語、社会、算数、理科を中心に)を何時間もつのかを決定する必要があります。

【例1】 5・6学年計2学級での交換授業

⇒ 7ページ

【例2】 5・6学年合計3学級での交換授業

⇒ 8ページ

【例3】 5・6学年合計4学級での交換授業

⇒ 9ページ

【例4】 学級担任間による単元の交換授業

⇒ 10ページ

- 教員の得意教科等に配慮し、担当教科を決める。
- 担任外教員を加えて、指導教科数をさらに減らしたり、空き時間を増やしたりすることで、教材研究や教材作成の時間を確保する。

ヒント

## ② 計画的・弾力的な時間割編成と変更

各教科等において、標準の授業時数を踏まえて計画的に指導していくためには、時間割の作成と調整が重要です。学校の実情に応じた計画的・弾力的な時間割編成や変更は、教務主任等が中心となって行います。

- 各教科担当の週指導計画に基づいて計画的に時間割変更をする。
- 週指導計画を職員室に掲示するなど、全校的な協力体制をつくる。
- 行事や特別教室の使用等、全校的な理解を得ながら時間割変更をする。
- 学級担任の交換授業は同じ時間帯に設定(変更が容易)する。
- 時間割編成ソフトや中学校のノウハウを活用する。

ヒント



## 【例1】 5・6学年計2学級での交換授業

5年(A教員)					
	月	火	水	木	金
1	算	算	算	算	算
2	国	国	国	国	国
3	理	理	理	社	社
4	社	音	図	外	外
5	音	体	体	体	家
6	道	総	-	総	特

6年(B教員)					
	月	火	水	木	金
1	国	国	国	国	国
2	算	算	算	算	算
3	社	社	社	理	理
4	理	体	体	音	家
5	体	音	図	外	外
6	道	総	-	総	特

担任A教員 ⇒ 算数(5時間×2学級)、理科(3時間×2学級)

担任B教員 ⇒ 国語(5時間×2学級)、社会(3時間×2学級)

A教員					
	月	火	水	木	金
1	5年	5年	5年	5年	5年
2	6年	6年	6年	6年	6年
3	5年	5年	5年	6年	6年
4	6年	5年	5年	5年	5年
5	5年	5年	5年	5年	5年
6	5年	5年	-	5年	5年

B教員					
	月	火	水	木	金
1	6年	6年	6年	6年	6年
2	5年	5年	5年	5年	5年
3	6年	6年	6年	5年	5年
4	5年	6年	6年	6年	6年
5	6年	6年	6年	6年	6年
6	6年	6年	-	6年	6年

※ 日課表は参考であり、実際には月もしくは学期毎に日課表を組み替え、時数を調整する必要がある。

◎例えば、担任の担当教科数が9教科 ⇒ 7教科となります。

○ 担任外教員を加えることで、さらに教科数が減少し、空き時間もでき、教材研究の時間も確保できます。

○ 担任外の教員が配置されていない学校は、実施教科の工夫により、担当教科数が減少されます。

## 【例2】 5・6学年合計3学級での交換授業

5年(A教員)					6年1組(B教員)					6年2組(C教員)							
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金		月	火	水	木	金
1	理	音	図	音	家	1	国	図	音	家	音	1	体	体	体	外	外
2	体	体	体	社	社	2	算	算	算	算	算	2	国	国	国	国	国
3	国	国	国	国	国	3	社	社	社	理	理	3	算	算	算	算	算
4	算	算	算	算	算	4	理	国	国	国	国	4	社	社	社	理	理
5	社	外	外	理	理	5	体	体	体	外	外	5	理	音	図	音	家
6	道	総	-	総	特	6	道	総	-	総	特	6	道	総	-	総	特

担任外の  
D教員  
⇒ 国語  
(5時間×3学級)  
⇒ 6年1組の  
外国語(2時間)  
⇒ 6年1組の  
体育(3時間)

担任A教員 ⇒ 理科(3時間×3学級)  
担任B教員 ⇒ 算数(5時間×3学級)  
担任C教員 ⇒ 社会(3時間×3学級)

A教員					B教員					C教員					D教員								
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金		月	火	水	木	金		月	火	水	木	金
1	5年	5年	5年	5年	5年	1		6-1	6-1	6-1	6-1	1	6-2	6-2	6-2	6-2	6-2	1	6-1				
2	5年	5年	5年			2	6-1	6-1	6-1	6-1	6-1	2				5年	5年	2	6-2	6-2	6-2	6-2	6-2
3				6-1	6-1	3	6-2	6-2	6-2	6-2	6-2	3	6-1	6-1	6-1			3	5年	5年	5年	5年	5年
4	6-1			6-2	6-2	4	5年	5年	5年	5年	5年	4	6-2	6-2	6-2			4		6-1	6-1	6-1	6-1
5	6-2	5年	5年	5年	5年	5						5	5年	6-2	6-2	6-2	6-2	5	6-1	6-1	6-1	6-1	6-1
6	5年	5年	-	5年	5年	6	6-1	6-1	-	6-1	6-1	6	6-2	6-2	-	6-2	6-2	6			-		

※ 着色のコマは空き時間を示す。

※ 日課表は参考であり、実際には、月もしくは学期毎に日課表を組み替え、時数を調整する必要がある。

◎ 例えば、担任の担当教科数が9教科 ⇒ 3～6教科となります。

◎ 担任の空き時間は6～7時間となります。※担任外教員1名を加えた場合。

○ 担任外の教員を加えることで、教科数が減少し、空き時間もでき、教材研究の時間も確保できます。

○ 担任外の教員を加えることで、国・算・社・理の4教科で交換授業が可能です。

## 【例3】 5・6学年合計4学級での交換授業

5年1組(A教員)						5年2組(B教員)						6年1組(C教員)						6年2組(D教員)					
月	火	水	木	金		月	火	水	木	金		月	火	水	木	金		月	火	水	木	金	
1	社	音	体	体	家	1	国	国	国	国	国	1	理	体	音	家	社	1	音	家	家	外	外
2	家	理	図	社	社	2	体	外	家	理	理	2	算	算	算	算	算	2	国	国	国	音	図
3	国	国	国	国	国	3	社	音	図	音	体	3	音	社	社	理	理	3	算	算	算	算	算
4	算	算	算	算	算	4	理	家	外	社	社	4	国	図	国	国	国	4	社	社	社	理	理
5	音	外	外	理	理	5	算	算	算	算	算	5	体	国	家	外	外	5	理	体	体	国	国
6	特	総	-	総	道	6	特	総	-	総	道	6	特	総	-	総	道	6	特	総	-	総	道

**担任外の  
E教員**  
⇒ **社会**  
(3時間×4学級)

⇒ **体育**  
(2時間×4学級)

担任A教員 ⇒ **理科**(3時間×4学級)、**家庭**(2時間×4学級)

担任B教員 ⇒ **外国語**(2時間×4学級)、**音楽**(2時間×4学級)  
**図工**(1時間×4学級)

担任C教員 ⇒ **国語**(5時間×4学級)

担任D教員 ⇒ **算数**(5時間×4学級)

A教員						B教員						C教員						D教員						E教員					
月	火	水	木	金		月	火	水	木	金		月	火	水	木	金		月	火	水	木	金		月	火	水	木	金	
1	6-1	6-2	6-2	6-1	5-1	1	6-2	5-1	6-1	6-2	6-2	1	5-2	5-2	5-2	5-2	5-2	1						1	5-1	6-1	5-1	5-1	6-1
2	5-1	5-1	5-2	5-2	5-2	2		5-2	5-1	6-2	6-2	2	6-2	6-2	6-2			2	6-1	6-1	6-1	6-1	6-1	2	5-2			5-1	5-1
3				6-1	6-1	3	6-1	5-2	5-2	5-2		3	5-1	5-1	5-1	5-1	5-1	3	6-2	6-2	6-2	6-2	6-2	3	5-2	6-1	6-1		5-2
4	5-2	5-2		6-2	6-2	4		6-1	5-2			4	6-1		6-1	6-1	6-1	4	5-1	5-1	5-1	5-1	5-1	4	6-2	6-2	6-2	5-2	5-2
5	6-2		6-1	5-1	5-1	5	5-1	5-1	5-1	6-1	6-1	5		6-1		6-2	6-2	5	5-2	5-2	5-2	5-2	5-2	5	6-1	6-2	6-2		
6	5-1	5-1	-	5-1	5-1	6	5-2	5-2	-	5-2	5-2	6	6-1	6-1	-	6-1	6-1	6	6-2	6-2	-	6-2	6-2	6			-		

※ 着色のコマは空き時間。

※ 日課表は参考であり、実際には、月もしくは学期毎に日課表を組み替え、時数を調整する必要がある。

◎ 例えば、担任の担当教科数が9教科 ⇒ 1～3教科となります。

◎ 担任の空き時間は5時間となります。※担任外教員を1名加えた場合。

○ 担任外の教員を加えることで、教科数が減少し、空き時間もでき、教材研究の時間も確保できます。

## 【例4】学級担任間による単元の交換授業

単元のみでの交換授業を試行的に行う方法もあります。単元のみであれば、年度途中でも交換授業を導入でき、本格導入に向けた準備にもなります。

また、算数の図形領域の指導が得意、国語の説明文の指導が得意、といった個々の教員のもつ専門性も生かれます。

ヒント

- ① 年間指導計画から、指導する時期と時数がほぼ同じ単元を見付ける。
- ② 交換が可能になるよう、時間割を調整する。
- ③ 担当教科を決める。【例】B教員は説明文の指導が得意なので、A教員が算数、B教員が国語を担当する。
- ④ 交換した単元の評価を行い、担任に渡す。

### 【例1】異学年間

指導月	5年(A教員)				6年(B教員)			
	算数		国語		算数		国語	
	単元名	配時	単元名	配時	単元名	配時	単元名	配時
11月	わり算と分数	6	固有種が教えてくれること(説明文)	6	角柱と円柱の体積	6	『鳥獣戯画』を読む(説明文)	6
担当	A教員		B教員		A教員		B教員	

### 【例2】同一学年間

指導月	6年1組(A教員)				6年2組(B教員)			
	算数		国語		算数		国語	
	単元名	配時	単元名	配時	単元名	配時	単元名	配時
11月	角柱と円柱の体積	6	『鳥獣戯画』を読む(説明文)	6	角柱と円柱の体積	6	『鳥獣戯画』を読む(説明文)	6
担当	A教員		B教員		A教員		B教員	

※ 算数は教育出版、国語は光村図書の年間指導計画を参考に作成。

## (2) 学習指導や生徒指導の充実

### ① 学年部会の定例化

定期的に学級担任と関係教員で次週の計画や児童の学習状況に共有することが必要です。

特に児童の安全や生徒指導に関わる内容等については速やかに共有する必要があります。

5・6年合同部会も考えられます。



ヒント

- 曜日と時刻を決め、週に1回、学年部会を設定する。
- ノートの記述の仕方や発言の方法などの学習方法等、児童が混乱しないよう、指導方法を共有していく。
- 週指導計画に基づき、指導内容や宿題について、協議、調整する。
- 配慮を要する児童の共通理解や支援について検討する。

### ② 同じ教科担当者による打ち合わせや指導計画の作成

例えば、5年生の国語を担当する教員と6年生の国語を担当する教員がいる場合、同じ教科担当者で教材研究を行ったり、指導計画の作成したりすることで、5年生と6年生を見通した、より系統的な指導計画の作成や学習指導ができます。

ヒント

- 時間割を作成する際、同じ教科担当者の空き時間が同じ時間帯になるよう工夫し、打合せ時間を確保する。
- 指導計画、指導案、教材、学習プリント等、ファイルを共有し、同じ教科担当者の教材研究や学習指導に役立てる。

### (3) 円滑な実施のための啓発

#### ① PTAや地域との連携、授業公開の実施

小学校教科担任制を円滑に実施していくには、PTAや地域との連携が必要です。小学校教科担任制の目的や期待される効果を周知していくことはもちろん、授業公開等で積極的に担任間で授業交換をしている様子を見ていただくことも大切です。



ヒント

- 年度当初のPTA総会や学校だより等で、小学校教科担任制の目的や期待される効果を保護者や地域へ周知し、理解を得る。
- 学校評価等で定期的な評価を行う。
- 学校公開日等の機会に、積極的に交換授業を取り入れ、小学校教科担任制を啓発していく。

#### ② 授業内容、宿題等、児童・保護者へ周知

小学校教科担任制を円滑に実施していくには、小学校教科担任制の趣旨や具体的な方法等はもちろん、授業内容や宿題について、保護者と児童に分かりやすく周知していく工夫が必要です。



ヒント

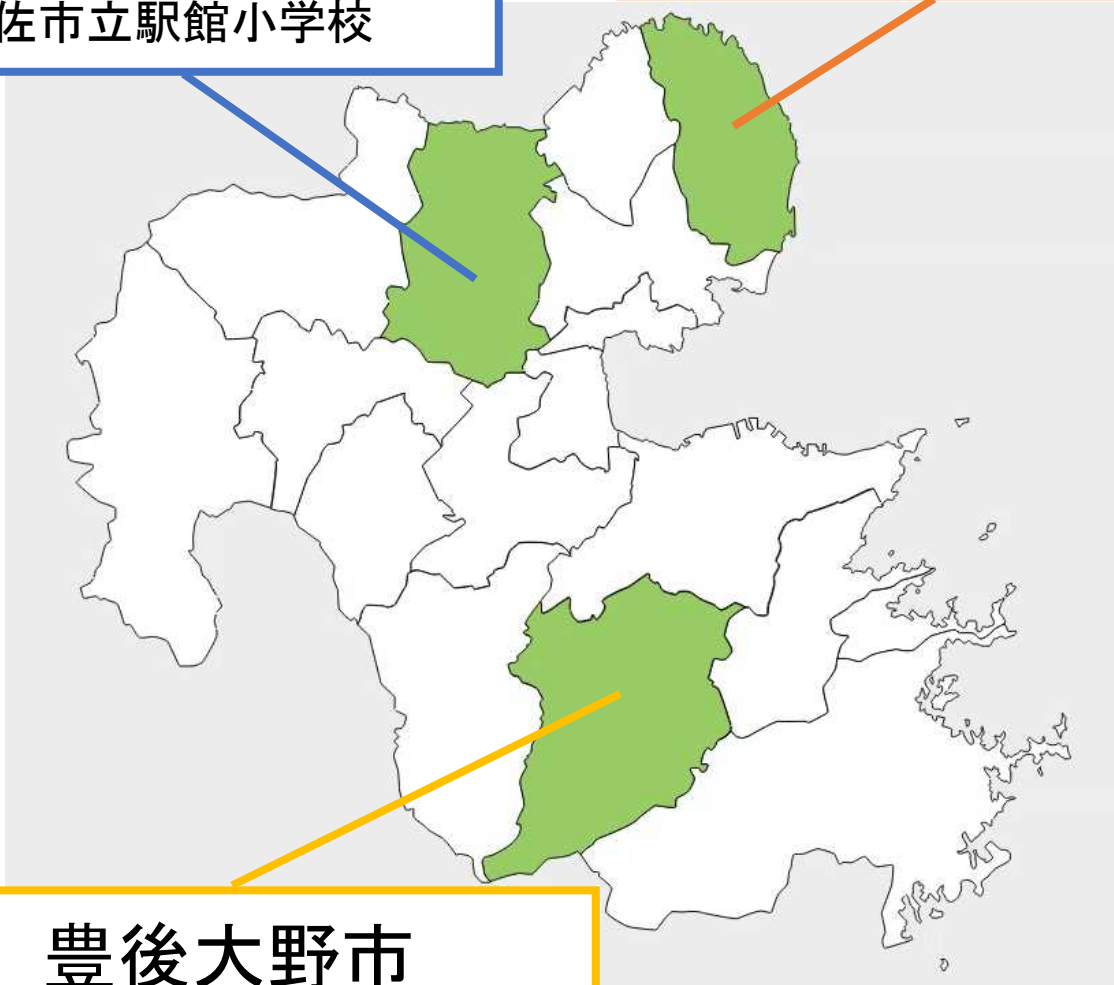
- 週の学習計画表等を作成して配布し、1週間の大まかな授業内容、持ち物や宿題等を確実に周知する。
- 児童の係活動を活用し、教科担任の指導の下、各教科係が学習内容や宿題等を連絡黒板等に記入する。

# 6 小学校教科担任制推進地域及び推進校

平成31年4月より、大分県教育委員会は、下記の3市を小学校教科担任制推進地域に指定し、域内の9校を推進校に指定しています。  
3地域9校の実践で明らかになった成果や課題を年度毎にまとめ、県内全ての小学校に発信し、教科担任制を推進していきます。

- ### 宇佐市
- ◆ 宇佐市立四日市南小学校
  - ◆ 宇佐市立四日市北小学校
  - ◆ 宇佐市立駅館小学校

- ### 国東市
- ◆ 国東市立国東小学校
  - ◆ 国東市立安岐中央小学校
  - ◆ 国東市立安岐小学校



- ### 豊後大野市
- ◆ 豊後大野市立百枝小学校
  - ◆ 豊後大野市立三重第一小学校
  - ◆ 豊後大野市立三重東小学校

## 6 小学校教科担任制推進地域及び推進校

### 令和2年度 未来を創る学力向上支援事業(小学校)実施要項(抄)

#### ② 小学校教科担任制推進教員について

ア 小学校教科担任制推進教員は、県教育委員会が導入・促進を目指す小学校高学年における教科担任制(学級担任間で国語・社会・算数・理科・外国語を中心に授業交換を行なう指導)(以下、「小学校教科担任制」という。)を推進する。

イ 小学校教科担任制推進教員は、学級担任は行なわず、原則として高学年の国語・社会・算数・理科・外国語の中から少なくとも1~2教科を担当する。

ウ 小学校教科担任制推進教員は、自校の小学校教科担任制の推進に係る資料(工夫した点・成果や課題等)を適宜、県教育委員会に提供する。

エ 県教育委員会は、小学校教科担任制の更なる充実に向け、「小学校教科担任制推進地域(以下、「推進地域」という。)」及び推進地域内に「小学校教科担任制推進校(以下、「推進校」という。)」を指定する(平成31年度~令和3年度)。

オ 推進校の管理職及び小学校教科担任制推進教員等は、県教育委員会が開催する「小学校教科担任制推進校連絡協議会」に参加し、取組の成果や実践上の課題とその解決方法等について協議を行うとともに、市町村教育委員会の指導のもと、その取組を域内の全小学校に広めるよう努める。

カ 推進校は、取組の成果を測るため、県教育委員会の準備する調査を年3回(4月・10月・2月)実施し、「学びに向かう力」等の向上について測定するとともに、その結果を県教育委員会(義務教育課)に報告する。

キ 推進校は、第5学年においては、大分県学力定着状況調査及び市町村独自の学力調査又は推進校独自の学力調査、第6学年においては、全国学力・学習状況調査及び市町村独自の学力調査又は推進校独自の学力調査を利用して、取組の成果を検証しその結果を県教育委員会(義務教育課)に報告する。

ク 小学校教科担任制推進教員を所管する市町村教育委員会は、「市町村学力向上アクションプラン」に掲げる目的を達成するために、本務校において、教科担任制による授業を実施するとともに、小学校教科担任制の取組を推進するため、その成果を域内外に広く公開するとともに県教育委員会に提供する。

なお、小学校教科担任制推進教員が実施する教科及び授業時間数については、市町村教育委員会が導入・推進計画に基づいて適切に定める。

ケ 県教育委員会は、小学校教科担任制の更なる推進・充実を図るため、小学校教科担任制推進教員に対して、年間2回の「小学校教科担任制推進教員協議会」を実施する。

コ 県教育委員会は、小学校教科担任制推進教員を所管する市町村教育委員会より提供された研究の成果を精選し、ホームページに掲載したり、「小学校教科担任制推進の手引き」等を更新したりして、県内全小学校への教科担任制の導入を推進する。



# 7 令和元年度の教科担任制推進校の導入状況

「平成31年度小学校教科担任制推進に係る取組状況」を基に、推進校9校の教科担任制導入状況を作成しました。自校の規模に応じて、参考にしてください。

## ①教科担任制（学級担任間の交換授業）導入の概要

どの教科で学級担任間の交換授業が行われているかを示しています。

## ②担当教科数と週当たりの空き時間数

①のような教科担任制を導入した結果、担当教科数がどれだけ減ったか、空き時間が週当たりどれほどできたかを示しています。

## ③日課表作成のポイント

日課表を作成する際に、各校がどのような工夫をしたかを示しています。

## ④円滑な導入へのポイント

教科担任制を円滑に導入するために、各校がどのような工夫をしたかを示しています。

### 宇佐市立駅館小学校 の導入状況 成果と課題は21ページ

#### ①教科担任制（学級担任間の交換授業）導入の概要 ※推進・・・小学校教科担任制推進教員

年組	担任	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	指導に関わる教員数
5年1組	A先生	推進	B	C	A	D	A	A	A	専科	6
5年2組	B先生	推進	B	C	A	D	B	B	A	専科	6
5年3組	C先生	推進	B	C	A	D	C	C	A	専科	6
6年	D先生	推進	D	D	B	D	D	D	A	専科	5

※駅館小は5年3クラス、6年1クラスの編成  
※太線囲みは学級担任間の交換授業

- ヒント**
- 学級担任の持ち時間が同じくらいになるように計画
  - 各教員が得意な教科を指導に活かせるよう配慮
  - 5・6年にまたがった交換授業

#### ③日課表作成のポイント

- ヒント**
- 国語や算数は、可能な限り午前中に入れるよう配慮
  - 算数は、習熟度別指導ができるよう日課表を作成
  - 理科は、2時間続きで授業ができるよう日課表を作成

#### ②担当教科数と週当たりの空き時間数

	担当教科数	空き時間数(週当たり)
A先生	4	5
B先生	4	3
C先生	3	7
D先生	5	6
推進	1	9



#### ④円滑な導入へのポイント

- ヒント**
- 始業式に高学年のオリエンテーションを開催。どの教科にも共通する約束事を確認
  - 毎週木曜日には学年部会を開催。推進教員が作成した次の週の日課表を調整し決定
  - 連絡黒板を作成して、宿題や持ち物が子どもたちに周知できるよう工夫

# 宇佐市立四日市北小学校 の導入状況

成果と課題は22ページ

## ①教科担任制（学級担任間の交換授業）導入の概要

※推進・・・小学校教科担任制推進教員

年組	担任	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	指導に関わる教員数
5年1組	A先生	推進	A	A	専科	A	B	A	A	A	4
5年2組	B先生	推進	B	B	専科	B	B	A	B	B	4
6年1組	C先生	C	C	推進	専科	D	C	C	C	C	4
6年2組	D先生	D	D	推進	専科	D	D	D	D	C	4

※太線囲みは学級担任間の交換授業

ヒント

## ②担当教科数と週当たりの空き時間数

	担当教科数	空き時間数(週当たり)
A先生	6	8
B先生	6	8
C先生	6	8
D先生	6	8
推進	2	9

- 各担任等の得意教科を優先
- 単元や習熟度合いが弱い時は少人数指導も可能

## ③日課表作成のポイント

- 高学年以外でも、発達段階に応じて教科担任制を実施
- 日課表の変更は、出張、年休等の計画的な把握をすすめるとともに、学年部において進捗状況を把握し、いつでも担当外が担当できるよう留意

ヒント



## ④円滑な導入へのポイント



ヒント

- 学習指導、生徒指導、中1ギャップ等、学級担任制の課題についての研修を実施
- 学習指導の充実、生徒指導の充実、中学校への円滑な接続、さらには働き方改革の視点をも含んだ取組である教科担任制の意義についての研修の実施
- 学級担任から学年担任への意識改革

# 宇佐市立四日市南小学校 の導入状況

成果と課題は23ページ

## ①教科担任制（学級担任間の交換授業）導入の概要

※推進・・・小学校教科担任制推進教員

年組	担任	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	指導に関わる教員数
5年1組	A先生	A	B	A	推進	A	推進	専科	A	専科	4
5年2組	B先生	B	B	B	推進	A	推進	専科	B	専科	4
6年1組	C先生	C	D	C	推進	C	推進	専科	C	専科	4
6年2組	D先生	D	D	D	推進	D	推進	専科	C	専科	4

※太線囲みは学級担任間の交換授業

ヒント

## ②担当教科数と週当たりの空き時間数

	担当教科数	空き時間数(週当たり)
A先生	4	6
B先生	4	6
C先生	4	6
D先生	4	6
推進	2	7

- 各教員の専門分野・所有免許状の専門性・参加研究会の経験等を考慮

## ③日課表作成のポイント

- 教室、特別教室、体育館等の使用が重ならないよう考慮
- 高学年だけでなく全校で交換授業やTT指導が組めるよう留意
- 日課表に特別支援員等の動きを明確に位置付け、特別な支援を要する児童へ配慮

ヒント



## ④円滑な導入へのポイント



ヒント

- 教科担任制に関わる教員全てが参加したオリエンテーションを実施し、内容を確認
- 中一ギャップ解消や教員の専門性がさらに発揮できる点を共通理解
- 各教科担当の課題の出し方や量等、児童の負担を考慮

# 国東市立国東小学校 の導入状況

成果と課題は25ページ

## ①教科担任制（学級担任間の交換授業）導入の概要

※推進・・・小学校教科担任制推進教員

年組	担任	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	指導に関わる 教員数
5年1組	A先生	B	A	推進	C	推進	A	C	A	A	4
5年2組	B先生	B	A	推進	C	推進	B	C	A	B	4
6年	C先生	B	A	推進	C	推進	C	専科	A	C	5

※太線囲みは学級担任間の交換授業

※家庭科専科は特別支援学級担任

## ②担当教科数と週当たりの空き時間数

	担当教科数	空き時間数(週当たり)
A先生	4	7
B先生	3	7
C先生	3	7
推進	2	9



- 授業したい教科を出し合い、決定
- 授業担当時間、空き時間が同程度になるよう配慮

ヒント

## ③日課表作成のポイント

- 一日の終わりの時間は担任が授業を担当するよう配慮
- 国語と算数は、極力午前中の時間に入るよう配慮
- 配慮が必要な児童について考慮し、体育の授業を午前中に設定

ヒント

## ④円滑な導入へのポイント

- 授業者ごとに学習ルールに差がないよう、授業規律について共通理解し、児童に求める内容をそろえるよう配慮
- 週に1回高学年部会を設定。来週の予定や気になる児童の出し合い等を実施
- 保護者の不安を減らすため、PTAの前に文書で知らせるとともにPTA総会でも周知



ヒント

# 国東市立安岐小学校 の導入状況

成果と課題は26ページ

## ①教科担任制（学級担任間の交換授業）導入の概要

※推進・・・小学校教科担任制推進教員

年組	担任	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	指導に関わる 教員数
5年	A先生	推進 推進	A	B B	専科	推進	A	A	A	A	4
6年	B先生	推進	A	B	専科	推進	A	A	専科	B	4

※太線囲みは学級担任間の交換授業

## ②担当教科数と週当たりの空き時間数

	担当教科数	空き時間数(週当たり)
A先生	5	7
B先生	2	8
推進	2	5



- 教科指導に関する専門的知識・技能を考慮
- 生徒指導等、児童理解に基づく学級経営考慮
- 教科担任制の趣旨を理解し、積極的に取り組もうとする意欲を考慮
- これまでの経験や本人の得意教科を考慮

ヒント

## ③日課表作成のポイント

- 5年生の国語・算数については、少人数指導ができるように時間をずらして日課表を作成
- 特別教室の使用時間や教員の指導時間数の調整

ヒント

## ④円滑な導入へのポイント

- 教科担任制の目的や方法について共通理解
- 毎週金曜日の学年部会で話す内容についての確認(次週以降の予定、日課表の確認、児童についての情報交換、不都合が生じた時の解決策等)



ヒント

# 国東市立安岐中央小学校 の導入状況

成果と課題は28ページ

## ①教科担任制（学級担任間の交換授業）導入の概要

※推進・・・小学校教科担任制推進教員

年組	担任	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	指導に関わる教員数
5年	A先生	B・C	C	推進・A	専科	4年担任	A	推進	A	A	6
6年1組	B先生	B	C	推進	専科	B	B	推進	A	B	5
6年2組	C先生	B	C	推進	専科	C	C	推進	A	C	5

※太線囲みは学級担任間の交換授業

※5年国語のCは書写を担当

ヒント

## ②担当教科数と週当たりの空き時間数

	担当教科数	空き時間数(週当たり)
A先生	4	5
B先生	4	8
C先生	5	9
推進	2	9

- 理科専科がいるので、5人で3クラスの主要教科(国語、算数、社会)を担当することが可能
- 5年1組の算数は、児童の実態を考慮し、推進教員と担任で習熟度別指導を実施

## ③日課表作成のポイント

- 子どもたちと学級担任が朝の出会いをスムーズに行うために、1校時は学級担任の授業が入るよう配慮
- 4年・5年の音楽・体育を学級担任による交換授業ができるよう工夫

ヒント



## ④円滑な導入へのポイント

ヒント

- 小学校教科担任制のねらいや意義を職員会議等で共通理解
- 週末に次週の予定を確認し合い、週案を作成



# 豊後大野市立三重第一小学校 の導入状況

成果と課題は29ページ

## ①教科担任制（学級担任間の交換授業）導入の概要

※推進・・・小学校教科担任制推進教員

年組	担任	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	指導に関わる教員数
5年1組	A先生	推進	A	B	専科	D	B	D	専科	専科・A	5
5年2組	B先生	推進	A	B	専科	D	B	D	専科	専科・B	5
6年1組	C先生	推進	A	C	専科	D	C	D	専科	専科・C	5
6年2組	D先生	推進	A	C	専科	D	D	D	専科	専科・D	5

※太線囲みは学級担任間の交換授業

ヒント

## ②担当教科数と週当たりの空き時間数

	担当教科数	空き時間数(週当たり)
A先生	2	7
B先生	3	7
C先生	3	7
D先生	4	7
推進	1	8

- 該当学年の児童の様子が見える教員を配置
- 推進教員(国語)、専科教員(理科・体育)の3教科を除いた教科を学級担任4人で担当
- 2年間実施してきた「指導法工夫改善加配を活用した習熟度別学習(算数)」を維持

## ③日課表作成のポイント

- 教科担任制に関わる教員の週当たり授業時数をなるべく均等になるよう配慮
- 曜日ごとの教科担任制に関わる教員の授業時数をなるべく均等になるよう配慮

ヒント



## ④円滑な導入へのポイント

ヒント

- 教科担任制に関わる教員全員で次週の日課表を検討する時間を固定し、確保
- 出張等で日課表の変更を余儀なくされた場合は、管理職を含め関係する全教員で協議



# 豊後大野市立三重東小学校 の導入状況

成果と課題は30ページ

## ①教科担任制（学級担任間の交換授業）導入の概要

※推進・・・小学校教科担任制推進教員

年組	担任	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	指導に関わる教員数
5年1組	A先生	B	A	A	推進	A	A	A	A	専科	4
5年2組	B先生	B	B	A	推進	B	B	B	B	専科	4
6年1組	C先生	D	C	C	推進	C	C	C	C	専科	4
6年2組	D先生	D	D	C	推進	D	D	D	D	専科	4

※太線囲みは学級担任間の交換授業

- 全体の**バランス**を考慮
- **経験**や**専門性**を考慮

ヒント

## ②担当教科数と週当たりの空き時間数

	担当教科数	空き時間数(週当たり)
A先生	6	5
B先生	6	5
C先生	6	5
D先生	6	5
推進	1	6

## ③日課表作成のポイント

- 特別支援学級や通級指導教室との調整を図りながら、**子どもたちの動きに無理がないよう**作成

ヒント



ヒント

## ④円滑な導入へのポイント

- 出張等の変更についての**連絡を密**に取り合い、計画的に日課表等を調整

# 豊後大野市立百枝小学校 の導入状況

成果と課題は31ページ

## ①教科担任制（学級担任間の交換授業）導入の概要

※推進・・・小学校教科担任制推進教員

年組	担任	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	指導に関わる教員数
4年1組	A先生	A	A	推進	A	A	A	A	A	A	2
5年1組	B先生	B	B	推進	C	B	B	推進	B	B	3
6年1組	C先生	C・推進	B	推進	C	C	C	推進	C	C	3

※太線囲みは学級担任間の交換授業

- 教員の資質・能力(**専門性**)や**バランス**を考慮して、担任・担当を決定
- 児童の実態を考慮し、教科・指導体制(算数・**少人数指導**又は**TT指導**)を決定

ヒント

## ②担当教科数と週当たりの空き時間数

	担当教科数	空き時間数(週当たり)
A先生	8	5
B先生	6	7
C先生	6	7
推進	3	9

## ③日課表作成のポイント

- 4年・5年・6年の算数で、**少人数指導**又は**TT指導**ができるよう工夫
- 5年・6年の社会・理科が**学級担任による交換授業**ができるよう工夫

ヒント



ヒント

## ④円滑な導入へのポイント

- 小学校教科担任制の**目的**や**運用**についての共通理解
- 学年や教科、**指導体制**についての共通理解
- **保護者への説明**についての共通理解

## 8 令和元年度教科担任制推進校の成果と課題



宇佐市立駅館小学校 の成果と課題 . . . . . 21ページ

宇佐市立四日市北小学校 の成果と課題 . . . . . 22ページ

宇佐市立四日市南小学校 の成果と課題 . . . . . 23ページ

国東市立国東小学校 の成果と課題 . . . . . 25ページ

国東市立安岐小学校 の成果と課題 . . . . . 26ページ

国東市立安岐中央小学校 の成果と課題 . . . . . 28ページ

豊後大野市立三重第一小学校 の成果と課題 . . . . . 29ページ

豊後大野市立三重東小学校 の成果と課題 . . . . . 30ページ

豊後大野市立百枝小学校 の成果と課題 . . . . . 31ページ

## 1 学習指導の充実

### ■学習の約束や予定の共通理解

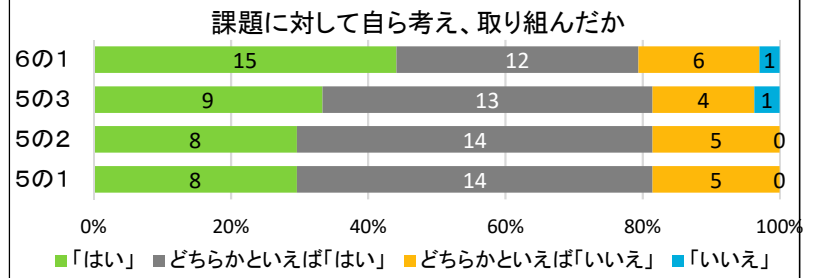
- ・高学年部会で学習の約束を確認する。
- ・4月8日に高学年のオリエンテーションを行い、児童と学習の約束を確認する。
- ・毎週木曜の学年部会で次週の学習の予定を確認し、週案を決定する。

### ■協力的な学習指導

- ・宿題のチェック、丸付け、やり直しを教科担任任せにせず、担任も行う。
- ・習熟(算数)の程度の低い児童を共通理解し、放課後1つのクラスに集め、複数の教員で補充学習を行う。

### 成果と課題

- ・学年部会では、各授業での児童の活躍や児童の良さを伝え合うことができ、指導に生かすことができた。
- ・各教科の担当が、それぞれの教科の教材研究を丁寧に行い、3クラスの指導に生かすことができた。学年度末の学力診断テストでは、どの教科も前年度より伸びが見られた。
- ・課題に対して自ら考え取り組む児童の割合が、高くなった。
- ・国語や算数の担当教員は、毎日の宿題を見ることに追われていたが、担任に返し、その時間を短縮できるよう児童の宿題のさせ方を工夫しているところである。



## 2 生徒指導の充実

### ■複数の教員での生徒指導

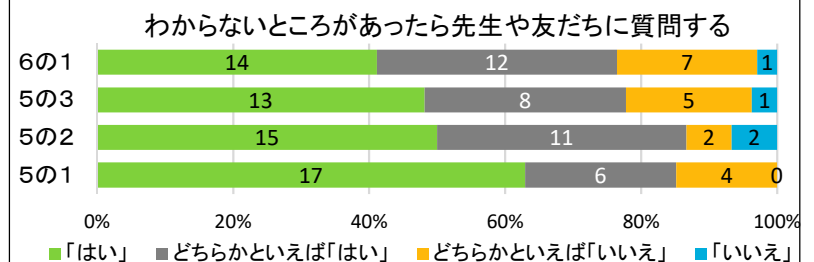
- ・毎週木曜の学年部会で、学級や児童の様子の情報交換を行い、指導の方向性を確認する。
- ・学年集会で、必要な指導を行ったり教師の思いを語ったりする。

### ■多面的な児童理解

- ・児童の状況(家庭環境や友達関係等)を共通理解することで、指導に生かす。
- ・各教科での授業の様子の情報交換をすることで、児童の良さを伸ばす。

### 成果と課題

- ・学年部会を毎週設定することにより、連絡が密になり、学級や学年の課題や児童の良さを共有することができた。その結果、高学年の教員全員で指導の方向性を確認し、指導に生かすことができた。
- ・どの学級にも複数の教員が入るので、その都度生徒指導を行うことができ、一人の教員だけに負担がかかることはなかった。
- ・わからないところをそのままにせず、質問する児童が増えた。



## 3 中学校への円滑な接続

### ■完全教科担任制の移行

- ・中学校の完全教科担任制に慣れさせるため、国語、算数、理科、社会を中心とした教科担任制をしく。

### ■高学年部での指導

- ・5、6年をまたいでの生活指導・学習指導を行う。

### 成果と課題

- ・現6年生は、5年時は、学級間や専科担任での指導に留まっており、理科以外の主要教科の指導は担任が行っていた。しかし、今年度、国語、算数、理科、外国語、体育の教科に総勢6名(現5年は8名体制)の教員で指導をする体制に変わり、学習意欲が高まった。
- ・中学校への移行を意識しながら、学習を進めたり生徒指導を行うことにより、児童にもそのことを意識させることができた。
- ・5、6年の教科を持つことにより、指導内容の系統性が見えてくる。さらに、中学校の指導内容を知れば、学習面での円滑な接続ができると予想される。

# 令和元年度小学校教科担任制導入の成果と課題(宇佐市立四日市北小学校)

## 1 学習指導の充実

### ■専門性を活かした授業づくり

- ・どの教科を担当するか決める時に各担任の希望や専門性を活かしながら決定できるようにする。
- ・2クラスでの授業を担当することでより指導の統一性を図る。また、授業の課題や内容の工夫に取り組む。

### ■基礎学力定着のための工夫

- ・昨年度まで習熟度別学習で算数の授業を行っていたことから、一斉学習の授業の改善をし、研修で広げる時間をもつ。
- ・「学びタイム」の時間の工夫をし、D層の児童の基礎学力の定着を図る。

### ■高学年教員の教材研究時間確保

- ・5、6年生の空き時間を増やし、教材研究をする。
- ・宿題やノートなど見る時間が増え、よりきめ細かに児童の学習指導ができる。
- ・児童の様子により単元によっては、少人数指導に取り組む。

### 成果と課題

- ・5、6年生での教科担任制に取り組んだことにより、算数や国語では、それぞれの教科の勉強が好きだ、理解できたと答えた児童が増えた。4月と10月と2月のアンケート結果を比べてみるとだんだんポイントがあがっていた。2月には次の結果であった。国語の「授業が好き」……5年生では 16.7%アップ  
「理解できた」……5年生では 9.5%アップ  
算数の「授業が好き」……6年生では 12.1%アップ  
「理解できた」……6年生では 12.9%アップ
- ・3学期の単元テストの分析からは、D層児童の割合が5年国語4%で0.3%増えたが、6年算数では2.5%で3.1%低くなった。理科では、6年4.5%、5年12%となった。児童質問紙をもとに、児童の思いをつかみ、授業改善や個別の関わりや励ましを続けたり、児童の実態をもとに「学びタイム」の活用の仕方をかえていったことが成果につながったと考えている。また、夏季休業中には、教科担任制のねらいや1学期の成果と課題についての研修を行い共通理解を図りながら進めていったことも成果につながったと思われる。その研修の中では、5・6年生の担任から、教科担任制推進教員が授業を受け持つことにより児童と関わる時間や教材研究の時間が増えたことがあげられた。また、教科担任を進めてきた教員からは、一斉で複数のクラスの授業をすることで、指導の統一が図れ、授業の練り直しが進んだという声が聞かれた。さらには、質問する児童が増え、褒めることが増えて、児童とのつながりもでき、この取り組みを広げたいという声が聞かれた。
- ・今後さらにD層の児童が「自分の考えをもち、学ぶ喜びが感じられる」ための、手立てや工夫を研究していくことが課題である。また、理科の学習の工夫や定着についても研修を進めていく。

## 2 生徒指導の充実

### ■複数の目で見ることによる児童理解の充実

- ・5、6年生ともに4教科を教科担当が授業をする。担任以外3人の教師の目で児童をみて指導にあたる。4人の教師が関わることで、児童理解が深まり、児童への関りが増える。
- ・4人の目で見た様子を共通理解する場をもち、学習や生活での声かけや関り方を共通理解し、一緒に家庭訪問する。

### ■質問できる人間関係づくり

- ・4人の教師が関わることで、「困ったこと・わからないこと」などを、教師に聞くことができる体制や雰囲気づくりをする。
- ・授業や学びタイムの中で、友だちに分からないことを聞いたり、自分の考えや気持ちを伝えたりする場を多くつくり「自分の思いを表現する・伝える」ことのできる児童を育成する。

### 成果と課題

～児童質問紙調査から、児童と教師の関係を見る～

- 質問18「授業でわからないところがあったら、先生に質問したり、友だちにやり方をたずねたりしていますか？」
- ・4月から10月の変化を見てみると、5・6年生共にはっきり「はい」と答えられた児童が5%～8%増えていた。2月の結果をみると4月に比べ平均12%増えていた。「いいえ」と答えた人数は、5・6年生共に変わっていない。「いいえ」と答えた児童に個別に聞き、理由をつかむ必要を感じ、なぜ、たずねることをしないのか聞いて児童の気持ちをつかむようにした。教師側からの関わりをまず大事にしていくことの共通理解を図った。2学期末から3学期にかけて、5、6年生での各クラスで、児童が先生に質問する、ペア学習やグループ学習で話せる関係になっているか様子を聞いたところ、1学期に比べると、質問する児童が増えているようだ。教師からの声かけや個別の関りを増やししながら、これからも取り組みを進めていきたい。
  - ・授業の中では、それぞれの班の考えや意見について、全員が「良いと思うこと」を発表したり、ノートに書いて伝えたりする活動に取り組んでいる。
  - ・また、必要に応じて、児童の様子で「算数席」をつくる等、意図的に席をつくって話し合いができるようにし、質問がしやすいようにする取り組みもしてきた。今後、授業の時間での指導の工夫について出し合う研修の時間の生み出しが必要である。

## 3 中学校への円滑な接続

### ■5年生から進める教科担任制

- ・中学校へのスムーズな移行を考え中学校で学ぶ教科(算数・国語・英語・音楽・図工・家庭科)を教科担任で授業を進める。
- ・中学年である4年生でも教科担任を2教科で取り組み、教科担任の授業の素地をつくる。

### ■学年部体制の充実

- ・本校は課題を抱えている児童が多い。そのため、学年部のできるだけ多くの目で児童の様子を見て早期に児童の悩みや課題に対応する必要がある。学年長を中心に、学年部の連携を強め指導の共通理解を図って指導にあたることを大事にしていく。

### 成果と課題

- ・本校では、5年生から教科担任制を進めるにあたり、4年生でも2人の担任で2教科の(英語と音楽)授業の交換をしている。次年度、他の教科での教科担任制にむけての素地がつくれ、5年生でのよりスムーズな授業が期待できる。また、4年生から複数の目で、児童の授業の様子をつかみ共通理解して指導にあたったことで、いろいろな課題の解決に学年部で対応することが早くからできることが成果としてあげられる。
- ・児童は、受ける授業へのいろいろな思い(得手・不得手など)から様々な姿をみせることがある。その様子を週に1度の週案について話し合うときに出し合い、指導の共通理解を図ったり、児童の思いを伝え合ったりしてきた。そのことで授業にあたる教員の児童理解が深まり、よりよい声かけや関わりができることがあった。中学校での学年部体制での指導に向けた取り組みといえる。教科担任制についての保護者アンケートでも「子どもにとってよい取り組み」と考える保護者は94.6%であった。



# 令和元年度小学校教科担任制導入の成果と課題(宇佐市立四日市南小学校)

## 1 学習指導の充実

### ■意欲向上を実現する専門的授業

- ・担任の得意分野・教科部会・実践経験を活かした日課表編成

### ■授業準備時間の充実

- ・担当授業時数を平均化し、週当たり6時間の授業等の準備時間を確保

### ■校務支援ソフト分析を活かす

- ・校務支援ソフトの機能を活用し、授業改善・指導法工夫改善につなぐ

### 成果と課題

【成果】(教科担任制学校評価アンケートより)

- ・高学年担当だけでなく、全校規模での交換授業が実現した。低・中学年からの系統的な指導ができ、児童の躓きに早い段階での対応が出来ている。
- ・全校日課表を作成により、週当たり6時間の空き時間を確保できた。より専門的な授業の準備や児童の理解を深める教具の準備が十分に出来た。
- ・担当教科別度数分布、観点別レーダーチャート等、支援ソフトの成績診断機能を活用し、補充指導が必要な児童、重点化が必要な領域を分析し、授業改善につなげた。
- ・学習意欲の伸び(学校評価児童アンケートでは「難しい問題も最後まで頑張った」とする児童が 90% → 93%となった)
- ・学力の伸び(学年末CRTテスト全国平均よりも5年国語は2.1P、算数は8.6P、6年算数は1.5P上回った)。
- ・教師の分析力の伸びが見られた(校務支援ソフトの活用スキルが向上した。)

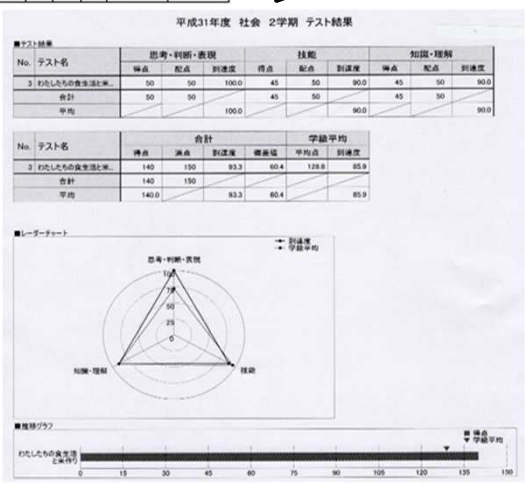
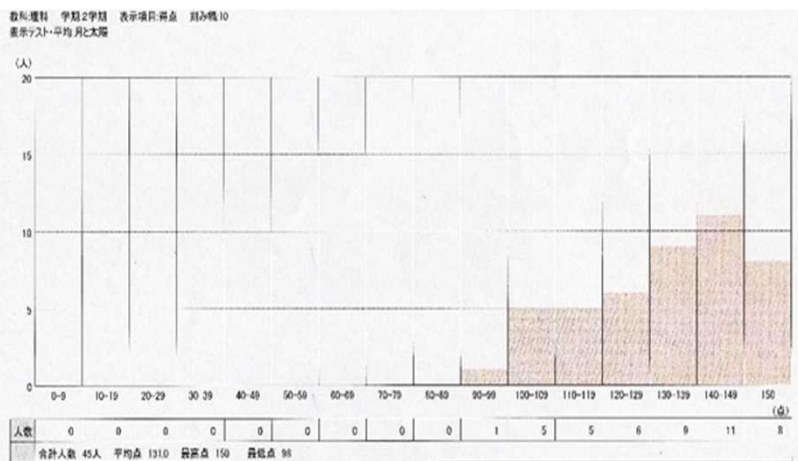
担当	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	児童 総時数	担当 総時数																				
1の1 A	学活	国	算	国	国	国	算	国	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	25	25																				
1の2 B	学活	国	算	国	国	国	算	国	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	25	25																				
2の1 C	国	算	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	26	22																				
2の2 D	算	国	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	26	22																				
3の1 E	社	算	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	28	22																				
4の1 F	算	学活	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	29	25																				
4の2 G	算	国	学活	国	国	国	算	国	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	29	25																				
5の1 H	国	国	算	国	国	国	算	国	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	29	23																				
5の2 I	国	国	学活	算	国	国	算	国	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	算	国	国	国	国	国	29	23																				
6の1 J	算	算	外	理	国	国	算	算	外	理	国	国	算	算	外	理	国	国	算	算	外	理	国	国	29	23																				
6の2 K	算	国	理	外	社	国	算	国	理	外	社	国	算	国	理	外	社	国	算	国	理	外	社	国	29	23																				
ひびき L(知的)	1-1 国	2-2 算	3-3 国	4-4 算	5-5 国	6-6 算	1-1 国	2-2 算	3-3 国	4-4 算	5-5 国	6-6 算	1-1 国	2-2 算	3-3 国	4-4 算	5-5 国	6-6 算	1-1 国	2-2 算	3-3 国	4-4 算	5-5 国	6-6 算		24																				
担任外	M 2-1	N 3-1	O 4-1	P 5-1	2-2	3-2	4-2	5-2	6-2	2-1	3-1	4-1	5-1	6-1	2-2	3-2	4-2	5-2	6-2	2-1	3-1	4-1	5-1	6-1	2-2	3-2	4-2	5-2	6-2	2-1	3-1	4-1	5-1	6-1	2-2	3-2	4-2	5-2	6-2	2-1	3-1	4-1	5-1	6-1	21	22
支援員	特別支援 R	特別支援 S	特別支援 T	特別支援 U	特別支援 V	特別支援 W	特別支援 X	特別支援 Y	特別支援 Z	特別支援 AA	特別支援 AB	特別支援 AC	特別支援 AD	特別支援 AE	特別支援 AF	特別支援 AG	特別支援 AH	特別支援 AI	特別支援 AJ	特別支援 AK	特別支援 AL	特別支援 AM	特別支援 AN	特別支援 AO	25	25																				
	特別支援 X	特別支援 Y	特別支援 Z	特別支援 AA	特別支援 AB	特別支援 AC	特別支援 AD	特別支援 AE	特別支援 AF	特別支援 AG	特別支援 AH	特別支援 AI	特別支援 AJ	特別支援 AK	特別支援 AL	特別支援 AM	特別支援 AN	特別支援 AO	特別支援 AP	特別支援 AQ	特別支援 AR	特別支援 AS	特別支援 AT	特別支援 AU	14																					

・全校の交換授業を見通した日課表

・提言・喫緊の状況に応じて柔軟にアップデートを繰り返す

・推進教員を中心に校務支援ソフトを分析にフル活用

・成績分布 個別チャートで補充指導につなぐ



## 2 生徒指導の充実

### ■複数の目による児童理解

- ・定例調整連絡会だけでない、日常的な情報交換

### ■指導方法の教科間連携

- ・有効な指導方法、特別な教育ニーズを教科間で情報交換・活用

### ■積極的な児童育成を仕組む

- ・深まりのある課題設定と、伝え合う場を必ず設定した授業

### 成果と課題

#### 【成果】

- ・時間を問わず、児童の最近の人間関係・家庭状況など配慮が必要な場面の、情報交換が活発になった。
- ・調整連絡会では、多様な児童に対する有効な指導の情報交換を行い、特別支援の視点からの指導法や教具の連携が出来た。
- ・研究推進の柱である深まりのある課題設定を教科担任のすべての授業で行った。構造的指導案を全担当が作成し、主体的・対話的な授業実践を行った。アンケートでも「課題に積極的に取り組めた」とする児童が91%を越えた。

教科担任制 児童アンケートの推移

教科担任制アンケートで課題に対する意欲向上がみえた

19	じゅ業の中で、先生から示される課題や、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	↑	4月	34人	37人	11人	7人	89人
				38.2%	41.6%	12.4%	7.9%	100%
			10月	40人	32人	12人	5人	89人
				44.9%	36.0%	13.5%	5.6%	100%
			2月	47人	32人	5人	← 2人	86人
				54.7%	37.2%	5.8%	2.3%	100%

## 3 中学校への円滑な接続

### ■学級担任から学年担当へ

- ・学年担当で児童全体を見ていると実感させる同一歩調の指導とフォロー体制

### ■学習規律の確立

- ・誰が担当してもきちんと授業が受けられる児童の育成をめざす、統一した学習ルールの確立

### 成果と課題

#### 【成果】

- ・年度当初の学習規律オリエンテーションの指導基準が1年間持続した。授業だけでなく学校行事・学年活動でも誰が指導しても整然と聞くことが出来る。
- ・担当同士の情報交換を授業での指導・配慮につなげている。

#### 【課題】

- ・教科担任がさらに連携し、児童が安心して学校生活を送れるよう、生徒指導の充実を図る。

学習集団、リーダー性、努力の持続等、総合的に判断しても学力の底上げになっていると実感できる

5・6年全員参加のオリエンテーションで学習規律や準備物を確認  
各担当からの熱いメッセージも発信



教科担任制に関わるアンケートより	7月	12月	2月
教科担任制と習熟度別指導は5・6年生の学力の底上げにつながっている。	78%	87%	88%

## 1 学習指導の充実

### ■ 授業改善の工夫

- ・指導教科数の減少により教材研究の時間を確保できる。
- ・複数学級での授業(5年)により、指導法の改善を行うことができる。

### ■ 学習規律の共通理解

- ・授業者ごとに学習ルールに差がないよう、学習規律について共通理解を図る。
- ・4月にオリエンテーションを開き、学習ルールについて児童に知らせる。
- ・学期に1回、学習規律についてのアンケートを実施し、自分たちの生活を振り返らせる。

### 成果と課題

#### 【成果】

・児童アンケートより

	1学期		2学期	
	人数	割合	人数	割合
いろいろな先生に教えてもらうことはよい。	65人/69人中	94.2%	68人/70人中	97.1%
教科担任制は自分にとってプラスになっている。	59人/69人中	85.5%	65人/70人中	92.9%

- ・教科担任制を肯定的に捉え、意欲的に学習に取り組んでいる子どもが多い。
- ・教科の系統性がよく見え、指導に生かしやすい。

#### 【課題】

- ・日課表の作成が複雑で、かなりの時間を要する。
- ・流動的な時間の運用ができにくく、行事前の調べ学習等限られた時間の中で行うには難しい面がある。

## 2 生徒指導の充実

### ■ 学年部組織の充実

- ・週に1回、高学年部会(教科指導に関わる教員と養護教諭で構成)を実施し、子どもの様子について情報交換をする。
- ・複数教員での指導により、児童を多面的に見ることができる。



### 成果と課題

#### 【成果】

- ・学習面、生活面ともに常に情報交換を行い、早い段階での対応ができる体制を組んでいる。多くの教員が様子を見たり声をかけたりすることで不安が和らいでいる子どももいる。

#### 【課題】

- ・学級担任があまり授業に入れない日は、生徒指導上の問題について見逃しがないか、帰りの会等で確認していく必要がある。



## 3 中学校への円滑な接続

### ■ 中学進学時の不安解消

- ・教科によって先生が変わることや学力に対しての不安を少しでも減らすことができるよう働きかける。



### 成果と課題

#### 【成果】

- ・子どもたちの声として、中学校で教科の先生が入れ替わることに對して不安を感じている子どもは少ない。

#### 【課題】

- ・中学校と連携し、入学してからの様子を聞き取りながら成果と課題を明らかにしていく必要がある。

## 1 学習指導の充実

### ■戸惑い・困りの解消

- ・新学期を迎えるまでに学年部会を開催〔話し合ったこと〕
- ✓ 当面の週案の確認
- ✓ 宿題の出し方(内容・量・誰がチェックするかなど)
- ✓ 第1回学年部集会の持ち方
- ✓ 教科担任から子どもたちへの連絡方法について(教科係をつくる)
- ・第1回学年部集会での子どもたちへの説明(導入された理由・心構え・担当教科の紹介)
- ・子どもの声(戸惑いや困り)を踏まえ、取組を改善
- ✓ 1学期末にふり返り(自由記述)の実施
- ✓ 子どもたちの戸惑いや困りを整理
- ✓ 学年部会で解決策の話し合い
- ✓ 2学期初めの学年部集会で子どもたちに知らせ、改善した方法で実施

### 成果と課題

#### 【成果】

- ・教科担任制導入以前より「くにさきっ子学習10か条」の徹底を組織的に取り組んでいたことや新学期を迎えるまでの学年部会、新学期当初の学年部集会の開催が教科担任による授業をスムーズにスタートさせるために有効だった。
- ・子どものアンケートによる戸惑いや困りをもとに授業方法を改善していくことができた。
- ・校内研究を中心に授業改善の方向を共通理解し授業を行うことで、どの教科も充実した学習指導を行うことができた。

〈授業の内容は理解できていますか?〉 ※児童質問紙をもとに集計

	5年生			6年生		
	4月	10月	2月	4月	10月	2月
はい	55.1%	65.4%	65.5%	60.3%	69.2%	69.6%
どちらかといえばはい	38.5%	27.6%	33.8%	27.6%	23.1%	26.3%
どちらかといえばいいえ	5.8%	3.8%	0.7%	7.7%	3.8%	3.4%
いいえ	0.6%	0.6%	0%	1.9%	1.3%	0.7%

#### 【課題】

- ・担任が担当教科だけではなく、子どもの学力や学習の様子を全体的に把握するためには、一層教科担任間の情報共有が必要である。そのための方法を考えていきたい。
- ・より充実した学習指導を行うために、横断的な学習についても考えていきたい。

## 2 生徒指導の充実

### ■多面的な子ども理解

- ・学年部会の場だけではなく、日常的に情報交換を行った。その中で、課題を背負わされている子どものことや授業中に気になった子どもの姿については細かく情報交換を行い、高学年部の職員全員で声かけをしていった。



### 成果と課題

#### 【成果】

- ・高学年部に関わる教職員がより協力的になった。
  - ・複数の職員で子どもたちに関わることができ、子どもたちの多面的な理解につながった。
  - ・子どもたちは担任以外の先生との関わりが増えたと感じている。
- 〈子どもの声〉  
「これまでは担任の先生以外と話すことがなかったけど、いろんな先生と話すことが多くなった。」

#### 【課題】

- ・子どもの指導をタイムリーに行いたい時に担当の授業が入っていたために行いにくい時があった。
- ・複数の職員で子どもに関わることができる反面、担任が子どもとの距離を感じる時があった。保護者の中にも「担任との関係が希薄なのは」という声があった。
- ・年度当初に担任が子どものことを理解するまでに時間を要した。

### 3 中学校への円滑な接続

#### ■ 中学校進学を見通した指導

- ・教科担任制に対しての子どもの戸惑いや困りの解消を考える時に、中学校進学に向けて必要な力をつけることも視野に入れて解決策を考えた。



#### 成果と課題

##### 【成果】

- ・たくさんの先生から学ぶ良さを感じる子どもが増えた。
- ・教室移動も素早く行動できるようになってきた。
- ・6年生は半数以上の子どもが中学校での完全教科担任制に対して安心感を持っている。

##### 〈子どもの声〉

「進学して戸惑うことがなさそうです。」

「中学生になってもすぐに慣れそうです。」

##### 〈保護者の声〉

「いろいろな先生方から授業を受けられて良いと思いました。」  
「小学校で教科担任制を取り組んでいると中学校にスムーズに入れるように感じています。(中学に行っている環境などが変わるので)」

##### 【課題】

- ・教職員同士で小学校での細かい配慮を中学校とも共有することが大切である。中学校に進学した子どもたちの様子(完全教科担任制にスムーズに慣れていけたかなど)を情報共有して今後の取組に生かしていきたい。
- ・授業の進め方やスピードの違いに慣れるまでに時間がかかる。

## 1 学習指導の充実

### ■「小学校教科担任制」についての共通理解

- ・学年始めに対象学年と教科担任制の導入体制を話し合い、日課表の作成をする。
- ・PTA総会で保護者に説明するとともに学級担任が通信で次の週の予定などを毎週知らせる。
- ・高学年部会を週末にもち、週案・情報交換をする。

### ■指導方法の工夫改善

- ・各担当教科の教材研究を深める。
- ・宿題の出し方の共通理解

### 成果と課題

- ・加配の存在があるので、空き時間が生まれ、教材研究や事務的業務を行うことができた。
- ・出張や各種行事の際、次週の時間割のやりくりが複雑になるが、週末にもつ高学年部会でお互いに支え合うことができた。
- ・担当教科の教材研究を学級担任制のときよりも深くすることができた。また、2クラスある学年の授業は、その日に軌道修正することができた。しかし、担任にとって他教科をどのくらい定着しているか見取くことは難しかった。
- ・宿題は、各教科担当が進度や量を考えて用意することができるので、これまでのように、学級担任がそれぞれ用意するよりも手間や時間の短縮ができた。

## 2 生徒指導の充実

### ■組織的・協力的な指導体制

- ・日課表の1限目は、学級担任の授業にする。
- ・複数の教職員での指導

### ■学級経営からの意識改革

- ・高学年部としての指導

### 成果と課題

- ・1日の始まりが担任との出会いからという設定にすることで、その日の子どもの様子を観察でき、スムーズな実態把握から生徒指導に生かすことができた。しかし、学級の子どもと離れる時間も多いため、1日を通して子ども一人ひとりの心の動きや様子をつかみにくい。
- ・担任だけではなく、複数の教職員で子どもを見ることができ、子どもも相談しやすい。反面、授業時間の融通がきかないとき、突発的な生徒指導がしづらかったり、担任としての関わりが薄れてしまったりと感ずることがある。
- ・各種行事(運動会・水泳指導・儀式的な行事等)で高学年として活動することが多いので、子どもの顔もわかり、情報交換がスムーズにでき、指導もしやすかった。
- ・学級担任との結びつきが強い小学校段階では、担任以外の先生との接し方も体験する機会が増え、子どもも相談ができた。

## 3 中学校への円滑な接続

### ■学びの連続性の確保

- ・子どもへの教科担任制についてのアンケートより
- ・新体制への準備として

### 成果と課題

- ・「教科担任が教える授業はわかりやすいですか」の肯定的な回答が81.1% から90.3%に増え、1学期に比べて教科担任制に慣れてきた様子が見られる。中学校へもスムーズに移行できるのではないと思われる。
- ・「担任の方がよい」、「先生の教え方に变化があるからわかりにくい」などの教科担任制への抵抗感を示している意見は根強く残っていることも見逃せない。
- ・教職員も子どももこれまで慣れ親しんできた体制が急に変わる事への歪みを慎重に考え、その環境整備を段階を踏んで整えた上での運用が望まれる。



## 1 学習指導の充実

### ■学習規律の共通理解と徹底

- ・年度初めに全教職員で「学習規律3つの柱」(チャーム着席、グー・ピタ・ピン、学習用具は机の左上)について共通理解を図る。
- ・各学期のはじめに、「学習規律集会」を開催し、「3つの柱」について児童に周知・確認する。
- ・学校評価で取り組み状況を確認し、次学期につなげる。

### ■高学年部会の定例化

- ・原則、毎週月曜日に「高学年部会」を開催し、次週の日課表の調整を行う。

### 成果と課題

#### 【成果】

- ・市学力調査(CRT,1月実施)において、5年生国語(全国比+3.7)・算数(+12.5)、6年生国語(+3.5)・算数(+10.3)といずれも全国平均を超えた。また、低学力層(正答率50%以下)の割合も前年度より5・6年とも1.7~3.5%減少している。
- ・学校評価の「小学校教科担任制」の項目では、教職員90%、児童83%、保護者92%という肯定率で、一定の評価を得ている。

#### 【課題】

- ・宿題・テストのやり直し等を徹底するため、担任と教科担任の役割分担と連携を密にしていく必要がある。
- ・日課表調整で、急な変更に対応しづらい。
- ・授業者の教室移動が、5分間では厳しい状況だった。

## 2 生徒指導の充実

### ■高学年部会での情報の共有化

- ・原則、毎週月曜日に「高学年部会」を開催し、高学年の子どもの情報を共有する。
- ・配慮を要する児童の理解や支援について共有する。

### ■一人で抱え込まず、必ず相談

- ・学級で起こった問題事象や保護者からの苦情等、一人で抱え込まず、まずは同学年部の先生に相談する。

### 成果と課題

#### 【成果】

- ・5・6年または同学年の子どものことを十分知ることができたので、素晴らしい行動や気になる行動はその都度担任に伝えることができ、生徒指導上有効であった。
- ・問題事象が起こった時に、学年部の先生方に相談したので、保護者対応で悩むことが少なかった。

#### 【課題】

- ・生徒指導上の問題が発生したとき、素早い対応について、さらなる検討が必要である。

## 3 中学校への円滑な接続

### ■小・小連携で学習規律を統一

- ・5校の小学校が同じ中学校に行くので、定期的に連絡会を持ち、学習規律の統一化を図る。
- ・「小・中6校交流会」を実施し、「郷土学の交流」「レクでの交流」でお互いを知り合う機会をもつ。

### 成果と課題

#### 【成果】

- ・「小・中6校交流会」を開催したことで、他校の6年と知り合うことができ、円滑な接続の一助となった。
- ・児童アンケートの中に「教科担任制になったことで、中学校入学への不安が解消された。」という回答が少なからずあった。

## 1 学習指導の充実

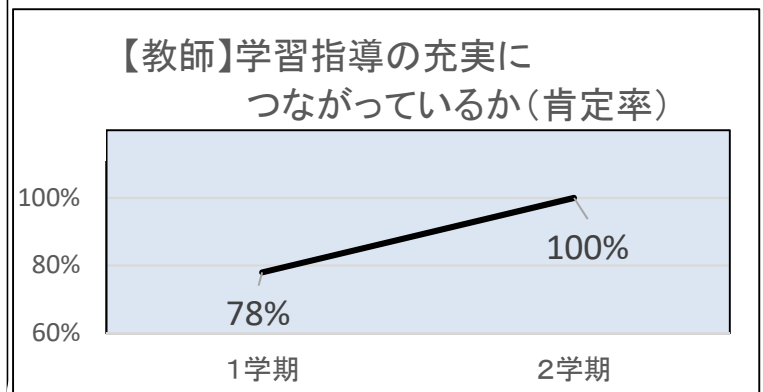
### ■授業改善の取組

- ・「主体的・対話的で深い学び」のある授業改善を目指し東小スタンダードの徹底をする。  
《取組内容》
- ✓ 単元計画や授業の流れを示す。
- ✓ 自分の考えを持たせ、ペア学習やグループ学習で考えを広めたり深めたりさせる。
- ✓ 教材教具の工夫をする。
- ✓ 刺激調整で学びに向かいやすい環境づくりをする。

### ■互見授業・授業研究の取組

- ・提案授業と互見授業を合わせて1人年間3回以上行い、授業を参観し合うなかで効果的な指導方法の交流をする。

### 成果と課題



- ・授業観察を中心に改善を進めた結果、教師の意識が高まり、わかる授業につながった。しかし、深い学びには至っていない。目的を明確にした活動や更なる教材教具の工夫が必要である。

## 2 生徒指導の充実

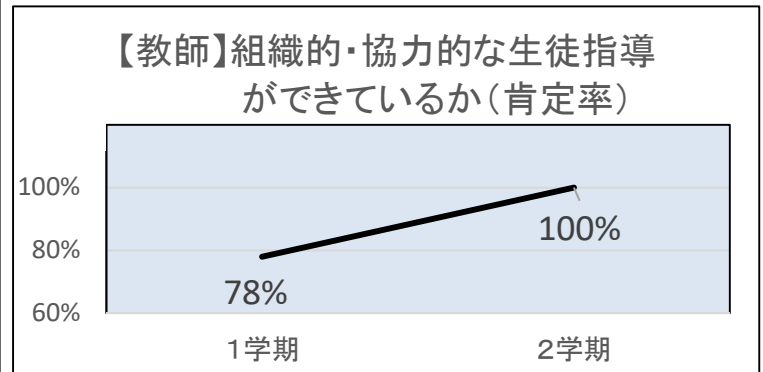
### ■共通理解のための時間設定

- ・児童の実態などを交流するための時間を確保し、指導方法や方向を共通理解する。  
《取組内容》
- ✓ 校時表を変更し、水曜日の朝10分間の打合せ時間と月曜日の放課後時間の確保を行う。

### ■認める・ほめる取組

- ・「認める・ほめる」という東小スタンダードの声掛けの徹底を図り、組織的な生徒指導を充実させる。

### 成果と課題



- ・1学期当初は遠慮等もあったが、2学期末には全体で組織的な生活指導ができるようになってきた。

## 3 中学校への円滑な接続

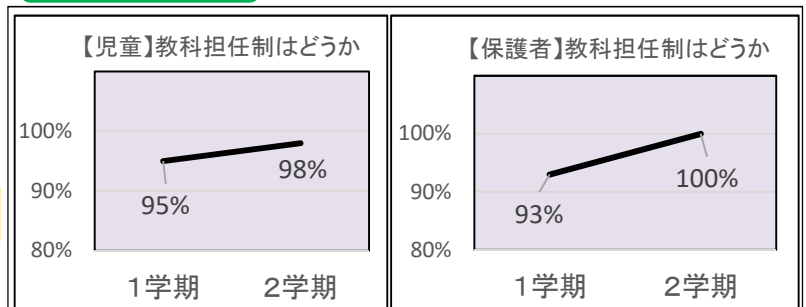
### ■教科担任制の抵抗感をなくす取組

- ・指導方法や方向を共通理解し、宿題の量などの確認をして児童の抵抗感を少なくする。

### ■保護者に実践を知らせる取組

- ・教科担任制の取組や児童の実態を積極的に知らせる。

### 成果と課題



- ・1学期末2学期末のアンケートとも、児童も保護者も大変肯定的に受け止めている。



## 1 学習指導の充実

### ■ 学習規律と授業改善の取組

- ・学校全体で、学習規律について統一したことを徹底する。
- ・家庭学習の取組方ややり直しについて共通理解しておく。
- ・指導教科数を少なくし、教材研究の時間を確保する。
- ・授業の流れや板書について、推進教員による研修を行う。

### ■ 個に応じた指導の充実

- ・学級担任と教科担任で連携して、個別指導を行う。
- ・複数の教員で指導にあたり、子どものつまずきに迅速に対応する。

### 成果と課題

#### 【成果】

- ・複数学年で教科指導するので、教科の系統性をとらえて、指導に生かすことができた。
- ・学級担任が教材研究・準備の時間がとれるので、ICT等活用した充実した授業準備ができた。
- ・教科担任が学級担任と学習状況について情報交換し、子どものつまずきに早めに対応することができた。
- ・「わからない時に誰に聞くか」というアンケートでは、「そのまましておく」児童が4人から1人となった。また、「先生に聞く」児童は、39%で前年度より5P高くなった。学びに向かう力がついてきているといえる。

#### 【課題】

- ・単学級での交換授業では、同じ授業を複数回することによるメリットを生かせない。
- ・小規模校では、配置人数が少ないので、授業持ち時間や担当教科数があまり減らない。



## 2 生徒指導の充実

### ■ 多面的な児童理解

- ・児童情報交換の場を週1回持つ。
- ・複数の教員で子どもを指導することで、個性の伸長を図る。

### ■ 組織的・協力的な指導

- ・情報交換を密にして、学校として同一歩調で子どもの指導にあたっていく。
- ・担任以外の教員とも気軽に相談できるような雰囲気を作る。
- ・学年部の組織運営をしっかりとる。
- ・担任以外でも同じ指導が徹底できるように生活ルールをきちんと確認する。

### 成果と課題

#### 【成果】

- ・複数の教員が関わるので、児童理解が深まった。
- ・学年部で複数の教員が子どもを指導していくことで、子どもの良さや可能性を引き出し個性を伸ばすことができた。
- ・学校として統一した学習や生活のルールについて、複数の教員が繰り返し指導し、徹底することができた。
- ・思春期を迎えた高学年の子どもの悩みや問題行動を早期に発見し、対応を組織的に考えることができた。

#### 【課題】

- ・保護者アンケートでは、「子どもと担任のつながりが強いので、小学校では、学級担任制の方がよいのでは。」という意見がある。今後、教科担任制のよさや目的について、学校だよりや学級懇談を通して広報していくことが大切である。

## 3 中学校への円滑な接続

### ■ 連携型小中一貫教育の取組

- ・小中学校で互見授業を行い、各教科の指導力の向上をめざす。
- ・学習指導・生徒指導において、共通の指導項目を設定して、取り組む。

### ■ 小小連携の取組

- ・小小で連携して、合同行事を行うことで、情報交換し、校内での指導に生かす。

### 成果と課題

#### 【成果】

- ・小中学校で、授業を見合うことで、担当教科の授業改善に生かすことができた。
- ・中学校区で、連携型小中一貫教育を進めているので、学習指導・生徒指導のノウハウを互いに交流し、指導に生かすことができた。

#### 【課題】

- ・アンケート「教科によって授業する先生が変わることをどう思うか。」では、保護者86%児童77%が肯定意見であった。児童によっては、学級担任以外の教員との関係性を築くことがきつい場合もある。個に応じた配慮が必要である。



小学校教員の専門性を高めた質の高い授業の促進  
～小学校教科担任制の導入～  
手引き(Ver.2)

大分県教育庁義務教育課学力向上支援班  
〒870-8503  
大分市府内町3丁目10番1号  
TEL (097) 506-5519